

JAPIAS/ThinkQuestワークショップ

レクチャー 2 :

現在のWebサイト制作の考え方とMacromedia
Dreamweaver MX 2004の効果的な使用方法

Webサイト制作の考え方

- Webサイトを制作する手順として、最初からHTMLを使用してWebのページを構築することとはしません。
- どのようなWebサイトを作成するかを最初に考えることから始まります。

Webサイト制作の考え方

- テーマは？ 目的は？ 誰のために？ なんのために？ 求めるWebサイトの最適な構成は？ …。
- さまざまな事を考慮したWebサイトの設計から始まります。

設計していく上での項目例

- サイトのテーマ(何についての?)

サイトのテーマとは、そのサイトにおいて、何をしたいのかを考えることです。

設計していく上での項目例

- サイトのテーマ(何についての?)

同じテーマでもメインになる目的が異なれば、効果的なWebサイトの見栄えや構成は異なるはずです。伝えたいことの重要度をどこに置くかを考えてみてください。

設計していく上での項目例

- 目的(何のために?)
 - 製品紹介?
 - サービスの紹介?
 - 顧客とのコミュニケーション?
 - 社員の募集?
 - 企業の認知度アップ?

参考: <http://y2pc.com/>
<http://www.ibm.com/jp/>

設計していく上での項目例

- **ターゲットのユーザー（誰のために？）**
 - ・どのような目的を持ったユーザーなのか？
 - ・ユーザーの年齢・性別・職業
 - ・ユーザーのアクセス環境

設計していく上での項目例

- **ターゲットのユーザー（誰のために？）**

ターゲットであるユーザーは潜在的にはより広いユーザーに見てもらいたいのはありますが、閲覧するユーザーの目的や嗜好などによって効果的な見栄えは変わるはずです。

設計していく上での項目例

- **コンセプト**

- ・コンセプトとは、目的を満たすためのアプローチ方法のことを指したりします。
- ・同じテーマのものでもコンセプトが違えば当然、見せ方やサイトに関するポリシーも変わってくるはずです。コンセプトを細かく設定するのも良いですが、いくつかキーワードになるものを持ってあげるとよいでしょう。

設計していく上での項目例

- メリット

作成するWebサイトを閲覧するユーザーが何を
もって得たかを考えます。Webサイトの目的の
ゴールがどこにあるのかを設定します。

設計していく上での項目例

- このような項目を決めることで、効果的なWebサイトの制作につなげることができます。

デザインを考える

- デザインの方向性
- 実現可能なデザインか考慮する
- 構成を考える
 - ・ 親切な工夫
 - ・ 作業効率
 - ・ 更新作業への配慮
- ネットワーク環境
- 使用する技術
- ユーザビリティ

ユーザーにとってより良いサイトを目指すために

- 技術的なことはすぐには難しいかもしれませんが、Webサイトのナビゲーションなどの使いやすさなどは、普段からWebサイトを閲覧する際にどのサイトが使いやすい、または使いにくいサイトかと意識するところから学習することが可能です。

参考: <http://www.macromedia.com/jp/>

実制作で考慮すること

- Webサイトの方向性が決まったら次に制作を始めます。
- 構成やデザインの決定
- 素材(画像、テキスト、Flash) の選択、作成
- HTMLのマークアップ

Webページのマークアップのアプローチ

- テーブルタグを使用したもの
- CSSのブロックレベルで組んだもの
- CSSレイヤーで組んだもの

- どれも見栄えは同じように作成されていてもHTMLの記述方法はさまざまです。

Webページのマークアップのアプローチ

- 「閲覧できればどれでも同じ」と言った考え方は今でもあるかも知れませんが、現在のWebページではHTMLをマークアップする上で色々な事を配慮します。

アクセシビリティ

- アクセシビリティとは、簡単に言ってしまうと「全てのユーザーがどのような環境においてもコンテンツの閲覧をすることができる」ということです。

ウェブコンテンツ・アクセシビリティ・ガイドライン 1.0 和訳

<http://www.zspc.com/documents/wcag10/>

JIS-X8341-3

- JIS X8341-3とは、今年7月にJIS(日本工業規格)から公示された、Webアクセシビリティのガイドラインです。
- 正式名称は「JIS X8341-3:2004 高齢者・障害者等配慮設計指針 - 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス - 第三部:ウェブコンテンツ」といいます

JIS-X8341-3

- 全てのコンテンツがこの規格に準拠していくとは限りませんが、少なくとも公共機関またはそれに順ずる機関では、こういった規格に準拠したページ作りが要求されます。

日本規格協会

<http://www.jisa.or.jp/>

SEO(サーチエンジンの最適化)

- SEOとは、「検索エンジンによる検索結果で、Webサイトを上位に表示させるために、Webサイトを最適化する手法」です。
- 検索エンジン各社(yahoo、google等)は、それぞれ独自の検索結果の順位を算出するアルゴリズム及びデータベースを持っています。そして各社のアルゴリズムは一定ではなく、頻繁に変更され進化しています。

ツール選択

- HTMLをマークアップするのはとても地味な作業ですし、時間のかかるものです。現在ではそういった時間のかかるマークアップ作業を効率的に行えるツールがいくつも存在します。
- どのツールを使用しても良いのですが、アクセシビリティやSEOを考慮したサイト作成することを意識できるものが望ましいです。

IBMホームページビルダー

- HTMLを自動的に作成してくれるビジュアルエディタです。
- 安価で、テンプレートを使用することで誰にでも簡単にWebページを作成することができるのが特徴です。

IBMホームページ・ビルダー

- 付属のテンプレートや素材は充実しており、初心者の方にとっては楽しいツールかもしれませんが、しかし、制作者側が望むページを作るのには少なからず努力が必要になります。
- 誰でもWebページを作成できてしまうだけに、HTMLのマークアップが適切でなかったり、プラットフォームに依存するWebページになりがちです

Macromedia Dreamweaver MX 2004

- HTMLを自動的に作成してくれるビジュアルエディタです。初心者からプロの方まで幅広く使用できるツールです。
- ホームページ・ビルダーと比べると、素材などは特に内蔵しているわけでもなく、値段も少し高価であり、作成する手順も示しているわけではありません。

Macromedia Dreamweaver MX 2004

- しかし、制作者側が望むページを作成する上では、優れた機能が豊富にそろっています。
- 多少敷居が高いように思われるソフトウェアではありますが、基本事項を抑えれば制作者にあわせたさまざまな使い方ができます。

Macromedia Dreamweaver MX 2004

- HTMLの自動記述
- CSSの適用のしやすさ
- CSSのビジュアルライズの高さ
- アクセシビリティを考慮したサイト設計のしやすさ
- グラフィックの操作

Macromedia Dreamweaver MX 2004

- StudioMX2004製品との親和性
- Webサイトの管理のしやすさ
- ダイナミックページの作成
- ページの更新性(テンプレートの更新性のよさ)
- サーバーとの連携
- その他にも優れた機能が豊富にそろっています。

Macromedia Contribute3

- Macromedia ContributeはDreamweaverに比べると、機能は少ないですが、安価で、Webサイトの更新や管理に向いているソフトウェアです。

Macromedia Contribute3

- Contributeの操作は大変シンプルです。
- 更新したいページを開いて、

更新ボタンを押す 更新を作業 公開する

という3行程で、Webサイトへのアップロードを自動的に
行い更新が完了してしまいます。

Macromedia Contribute3

- Dreamweaverのテンプレートを使用することも出来ますので、ページを新しく作成する上でもスピーディに作成することができます。
- また、WordやExcelで作成したファイルをContributeに呼び込むことで、簡単にページを作成することも出来ます。

Dreamweaver MX 2004 デモンストレーション